

# NPO法人 森づくり奈良クラブ

## <会報 第90号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内  
 〒634-0033 橿原市城殿町459  
 TEL 0744-26-0200  
 FAX 0744-26-0201  
 メールアドレス：[gvnc@nifty.com](mailto:gvnc@nifty.com)  
 ホームページ：  
<http://gvnc.eco.coccan.jp>

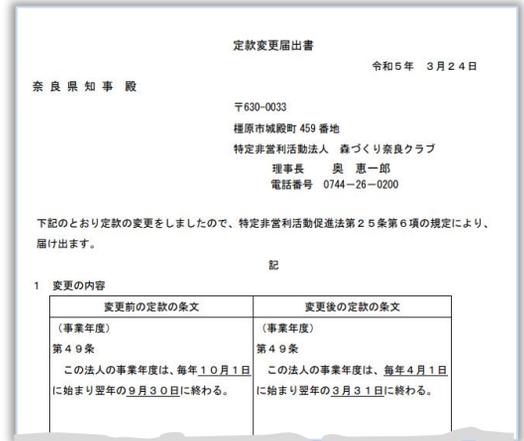


### ◇活動年度変更に伴い4月1日から令和5年度開始

当クラブの事業年度について、クラブ発足から「毎年10月1日に始まり、翌年の9月30日に終わる」としておりましたが、許可・指導や助成等を受ける行政をはじめ、各団体の決算年度は「4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる」ものが多いため、整合を取り活動を円滑で効率的に行うことを目的として、今回定款変更届を奈良県に届け出ました。

これにより、令和5年度は4月1日から開始となります。

なお、本年は過渡期の為、昨年10月1日から本年3月31日までが令和4年度となり、6月頃に総会を開催し、年度総括等を行う予定です。会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。



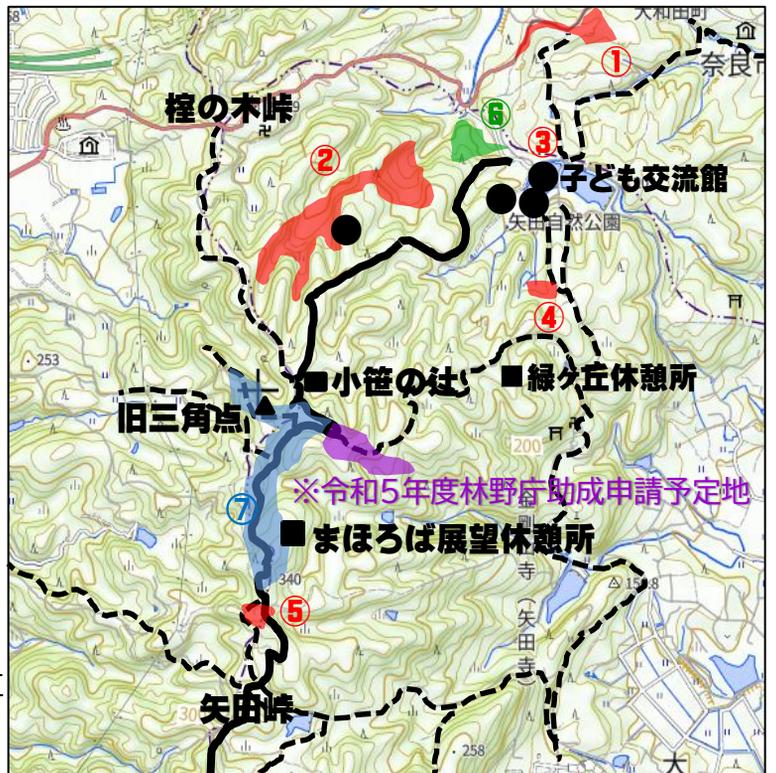
### ◇令和5年度も継続して活動する地域の申請を実施

令和5年度の活動に向けて、奈良県に5件の行政財産使用許可申請を行いました。

下の地図の■色と●の部分です。緑の募金公募事業■「⑥冒険の森の整備」は昨年申請し本年の6月末までの活動。■「⑦林野庁助成 矢田山旧三角点から頂上展望台までの沿線整備」は3月末で取組完了。

1) 令和5年4月1日から1年間の許可申請

- ① 国道308号線沿線の整備  
工務店周辺の竹林から南西側国道そば
- ② みんなの森整備  
約5haに広がる伝統の谷筋整備
- ③ 倉庫・苗畑等の使用許可  
交流館付属倉庫・ログ風倉庫・車庫炭窯周辺使用、及び苗畑の使用(●)
- ④ 平成の森の整備  
昨年までの桜・イロハモミジの植樹地に加え、昨年植樹したイチイガシ周辺
- ⑤ 頂上展望台周辺の整備  
頂上展望台の植栽地を含む周辺の除草などを4回/年程度



# 陀羅尼助の郷で森づくりin天川村洞川 PartⅢ 盛況で無事終了

奈良県森林ボランティア連絡協議会主催で、当クラブが事務局・企画・運営を担う、毎年恒例の「森林ボランティア活動のリーダー養成」イベントが3月18日(土)～19日(日)に開催。初日の雨にもめげず、講師・指導者8名、参加・受講者26名と全34名もの参加で、事故なく盛況のうちに終了しました。

企画・準備・運営の皆さん、ご苦労様でした。参加の皆さんもお疲れ様でした。



天川村バイオマス生産供給施設

初日18日(土)は朝からきつめの雨。それでも集合・開会の天川村バイオマス生産供給施設に参加者が続々と集まります。

当クラブ奥理事長のあいさつ・説明の後、施設担当から天川村の説明を頂きスタート。その後、天の川温泉に移動し、責任者から薪ボイラーについて詳しい説明を受け、降りしきる雨にもめげず見学者は熱心に聞き入っていました。

供給施設に戻り、チェーンソーの説明の後、小降りの雨の中、玉切り実習。明日の伐倒に向け皆真剣に取り組み、昼食はみんなでチェーンソーのメンテ講習と内容は盛沢山。



開会あいさつ・説明



薪ボイラーの説明に聞き入る



チェーンソー説明の後、玉切り実習



メンテナンス講習



洞川の自然観察

いったん洞川の宿に入り、荷物預けた後再び集合して洞川周辺の自然観察に向かいます。雨はあがったものの展望なし。晴れていれば絶景も、残念でした

宿に戻り、温泉で温まった後、待望の懇親会開始。山宿の料理を楽しみながら、会話に花が咲きました。お開きの後再び日が変わる前まで二次会。翌日に引きずった人もいたかも。



奥村さんの普頭で乾杯



2日目はこのイベントに協力していただいている洞川財産区の増谷議長挨拶から活動開始です。メインの研修内容となる桧の伐採、枝払い、玉切りから搬出までの林業作業です。初級、中級、上級3班に分かれての地元の山師さん、地域おこし協力隊の指導を受け、作業を行います。初級班は伐採の基本となるもやい結びを習得し、伐採木を引っ張るためのロープ上げにチャレンジです。最終的には3名に伐採を体験していただきました。

中級は、伐採方向を正確にするため、プラロックで牽引しての伐倒としました。



快晴のもと全員集合

枝払い後、薪ボイラー用に1mに玉切りし、搬出しました。

上級は、伐採者が準備からすべて判断し、山守さんに指導を受けながらの研修です。実際の山での作業は傾斜有、樹の重心方向の判断が難しく、伐採方向が少し変わるなど苦心の研修となりました。伐採本数21本、約5㎡の伐採です。最後は下り傾斜を伐採木を転がしたり、トビで引っ張ったりして、トラックまで搬出しました。

その後バイオマス生産供給施設に移動し、奈良県の西様から「奈良県の新たな森林環境管理制度について」講演をして頂きました。目指すべき森林の姿と奈良県フォレスターの今後の活躍について語っていただき、とても参考になりました。天気にも恵まれ順調に活動が進み、けが人もなく無事イベントを終えられました。皆さんの協力に感謝します。(奥)



玉切り実習の成果を捕獲



安全に桧を搬出準備



昨年の植樹周辺を下刈り



西様より講演をいただく

## この四半期の活動模様

### 1. 毎月第二土曜の定例活動・・・「緑の募金」公募事業：冒険の森の整備作業を中心に実施

- ・1月14日 天気：雨 参加6名 あいにくの悪天で野外活動なし。子ども交流館で今後の取組み方等議論、検討。
- ・2月11日 天気：晴 参加8名、みんなの森の橋を修繕するための間伐材運搬とその皮むき等。
- ・3月11日 天気：曇 参加12名、冒険の森の枯損木処理と灌木整理、他に頂上展望台周辺の笹刈り。松の皮むきなど

緑の募金事業「冒険の森」整備は今期終了で残すところ3ヶ月。付近一帯のナラ枯れなどの危険木や笹の除伐は進んでいます。引き続き危険木伐採と笹刈りを進めるとともに、歩行路の段作りなどの整備と植物名の表示方法を検討し、安全で楽しい森づくりを目指します。



今後の取組みなど活発に議論



間伐材活用へ皮むき



ス々に二桁の参加者



ナラガシの大木を伐採

### 2. 毎月第四土曜の定例活動

- ・1月28日 天気：雪のち晴 参加5名 朝までの雪で通行困難。みんなの森見回りとぜんざいパーティ
- ・2月25日 天気：曇 参加11名 みんなの森の橋へ間伐材運搬と修繕。別班は芋からこんにゃく作り、今年もGoo！
- ・3月25日 天気：雨のち曇 参加6名 朝までの雨で野外作業中止。みんなの森～頂上～緑ヶ丘を周回点検

1月は久しぶりの積雪。森への道も凍結し参加困難な中五人参集。2月は懸案のみんなの森の老朽化した丸太作りの橋を間伐材の材に交換。交換に至る間伐材の運搬で軽トラが思うように登れず苦労しました。結果、メンバーが担いで運搬。お疲れでした。同じ日恒例のこんにゃく作り、その夜は一同舌鼓で晩酌もすすんだ？



寒い中ぜんざいで温まった



老朽化した丸太を交換



今年もこんにゃくにあいつく



頂上も3月25日でこの桜

### 3. 自主活動／講習会など・・・林野庁助成事業：矢田山三角点から展望台沿線整備、フェンソー講習会

- ・1月18日(水)晴れ6名 林道横の間伐と材作り
- ・1月22日(日)晴れ5名 フェンソー講習会、目立ての習熟
- ・2月 5日(日)曇り4名 まほろば横の間伐と集材
- ・2月15日(水)曇り3名 旧三角点南側で玉切りと集材
- ・3月5日(日)晴れ4名 展望台までの集材と林内整理、チップパーによる枝などの整理

林野庁助成事業「矢田山三角点から頂上展望台への沿線整備」最終取組みとなる四半期で、これまで間伐を進めた木材の玉切り～収集～集積、及び枝等のチップパーによる整理を中心に行って林内の整備を行いました。これにて、この山域の整備作業は完了。次年度は東側に移る予定です。フェンソー講習会では正しい目立ての習熟を図り、より効果的な使用に努める一助としました。



導入した新ツールで材作り



講習で目立てスキルがアップ 綺麗に集積し活用を図る



切った枝もチップ化

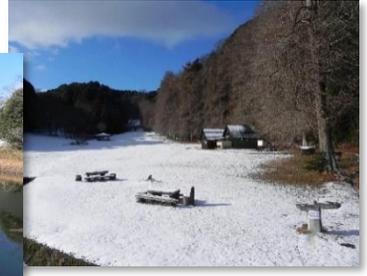
# ◆この四半期のTOPIX

## 1. 令和5年1月28日 定例日の朝は遊びの森が真っ白

令和4年から5年の冬は寒いのか温かいのか、よくわからない日々でしたが、1月27日から28日の朝にかけて奈良地方で徐々に積雪がありました。

国道308号も凍結し、定例活動への参加を諦めた会員も多かったと思います。

標高300m程度の矢田丘陵でも真っ白な静寂な世界となり、童心に帰れた朝でした。



## 2. 「春日奥山古事の森」を訪問・見学

会員有志で令和5年3月14日(火)春日奥山古事の森を訪問・見学しました。

古事の森は、春日奥山国有林内に設定されたもので、「国民参加の森林づくり」の一環として、歴史的木造建造物の修復用資材の供給に寄与する目的で誕生したとのことです。

その活動は、林野庁やNPO等と協力・連携を図りながら200~400年の長いスパンで森づくりへの取り組みを展開する、とされています。

当クラブも平成15年12月から古事の森育成協議会メンバーとなり森の育成・保全に協力し活動する役割を担っています。

当日は、林野庁奈良森林管理事務所から3人見えられ、直接現地を歩いて森の状態や活動状況を説明していただきました。当面は現在植樹している桧などの枝打ちが必要とのことで、当クラブもできるかぎり協力をしていきたいものです。

※当地は、柳生街道 滝坂の道の地獄谷石窟仏のすぐ東側に広がっています



## ◆矢田山のいいところ2 <航空祖神とその周辺>

矢田丘陵の隠れたいいところの2つ目を紹介します。今回は、大和郡山市の大和民俗公園周辺にある神話の地を紹介します。

航空祖神=矢田坐久志玉比古神社(やたにいますくしたまひこじんじゃ)は楼門のプロペラが目印。これは昭和19年に航空機の安全と発展を祈願して、国から航空祖神として奉納されたものらしいです。

この神社の祭神、饒速日命(にぎはやひのみこと)は、日本書紀の神武東征のくだりでは、天の磐船に乗って大空を駆けめぐる(それで航空祖神)。その命が大和に降りる時、三本の矢を放ったところ二の矢がこの神社に落ちたと伝えられます。

一の矢塚はここから500m南南東に、三の矢塚は北北西にあります。神社には現在も航空各社含め航空関係者の参拝も多いらしく、楼門のプロペラの上の「航空祖神」の文字は、故源田実参議院議員によるものとのこと。「大海人皇子が矢田寺で戦勝祈願した後、馬に乗って山の頂上から東へ飛び降り、この石に足形がついた」との伝承のある「矢田の大石」も西に1kmほどの所にあり、民族博物館を合わせ、ノンビリ訪ねてみてはどうでしょうか。



■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ 奥 恵一郎

<後記>  
月日の過ぎるのが早い、もう四月。こう感じるのは「トキメキ」がなくなったから」とチョコちゃんに叱られながら聞きました。これも老化のせいらしい。体験・雑感・技術・旅の話・料理の話・植物・動物、なんでもいので投稿お願いします。(eto)

